

第2回WGの議事内容と対応方針

No.	主な議事内容	対応方針
1	4つの柱(①災害対応、②維持管理効率化、③人材育成・確保、④財源確保)はどれも重要であり、並行して進めるべき。	4つの柱は並行して進めていく。
2	一方で、全てのメニューを同時に進めていくことは難しいため、具体化に向けて取組をさらに絞ることも必要。	優先順位をつけて、年度ごとに具体的な取組の絞り込みを行う。
3	今後の具体化に向けて担当者会議で内容を詰めて欲しい。	水道・下水道の個別事項については、水道広域化研究会および汚水処理事業広域化・共同化研究会作業部会において、WGに関連した議論を担当者レベルで行うこととする。 上下水道一体で開催する必要がある場合は別途開催する。 なお、各短期メニューについてはそれぞれに分科会を開催し、効率的な議論ができるよう調整を行う。
4	使用料や料金について、他自治体の情報も欲しい。	財源確保の取組として、情報提供を行う。
5	上下水道で集まったWGであるため、災害対応などの上下水道一体で取り組むメニューを重点的に議論することを期待。	上下水道一体のメニューについて具体的な取組内容を今後議論。